

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 一過性全健忘を発症し入院となった症例の臨床的特徴

[当院研究責任者] 神経内科主任部長 氏名 湯浅 浩之

[研究の背景] 一過性全健忘(Transient global amnesia:TGA)は何らかの誘因により、突然に著しい記憶力障害、過去の記憶障害が生じます。この病態の発症機序については複数の説が提唱されてきましたが、未だ結論は得られていません。TGA 発症の誘因としては激しい運動、寒冷刺激、性行為、精神的ストレス、医療行為等が報告されており、特に後遺症を残さずに自然と症状が消失する良性の疾患です。本研究では当院における TGA 症例の臨床的特徴を検討します。

[研究の目的] TGA で入院された患者さんについて、背景、検査所見、入院経路などを調べ、診断の手がかりを得ることを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007年6月1日から2018年5月31日の間にTGAを発症し当院神経内科に入院となった方を対象に、後方視的に患者背景、来院状況、発症状況、検査所見の検討を行います。

●研究期間：医の倫理委委員会承認日から平成32年3月31日

●利用する検体、診療録に基づく情報

本研究では、対象患者の年齢、性別、診断名、来院状況、発症状況、検査所見を電子カルテ上の記載情報から参考にします。

●検体や情報の管理

電子カルテの記載情報は当院のみで使用します。解析の段階で情報の匿名化され、個人情報保護されます。

[研究組織]

本研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。具体的な生活状況から特定の個人を推定できるような情報を発表に含めることはありません。情報は、当院の研

究責任者が責任を持って適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 医局, 神経内科 氏名 宮武 仁志, 小栗 卓也, 湯浅 浩之

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139